

広報

ただみ

12
2012 月号
No. 511
平成24年12月10日



今月の表紙

クリスマス会

ひと足早くサンタクロースがやってきたのは12月2日に朝日地区センターで開かれたクリスマス会。集まった町内の子どもたちは、サンタさんからお菓子をもらったり、映画を観たり、楽しいゲームやビンゴ、プレゼント交換などでふれあい、ホールには笑顔があふれた。

ユネスコエコパーク

地域シンポジウム…………… 2～3

- 第42回只見町文化祭…………… 4～5
- 町内全域環境放射線量モニタリングメッシュ調査…… 6～7
- 目黒吉久氏只見町長に当選 他…………… 8～11
- 町の話…………… 12～13



ユネスコエコパーク が描く只見の未来

只見ユネスコエコパーク（仮称）の登録と、その推進を図ることや、町民皆さんのこの事業に対する理解を深めていただくこと、さらに主体的な参加と活動を展開していくことが必要であることなどから、学識経験者や先進地の方を招き、ユネスコエコパークについて学び、議論することを目的に、11月18日、季の郷湯ら里で「ユネスコエコパーク地域シンポジウム」が開かれました。



▲貴重な意見が聞かれたディスカッション

オープニング

「ユネスコエコパークが描く只見の未来」をテーマに開かれたシンポジウムには約140人が参加、主催者あいさつで目黒町長は「先祖から受け継いだ地で生命や財産を守り、次世代に伝える責任がある。自然と生命を慈しみ、人の営みのあり方を見つめ直し、皆さんと考え、只見ユネスコエコパークを全国に発信していきたい」と述べました。続いて、浅井孝司日本ユネスコ国内委員会事務次長、鈴木克昌福島県生活環境部次長が祝辞を述べました。

ユネスコエコパーク地域シンポジウム

第一部 世界から見た 只見ユネスコエコパーク

5名の皆さんから、それぞれの表題について、お話をいただきました。

「只見の自然の特徴と価値」

櫻村利道 福島大学名誉教授
▽福島県で一番雪が深い。貴重な雪食地形が多い。多彩な自然環境で希少種が多い。エコパークへの登録で新たな発展が望まれる只見の自然。

「佐渡フィールドセンターにおけるエコツーリズム」

崎尾均 新潟大学教授
▽自然散策ツアーや、蒲生岳のトレッキングを行なってみてはどうか。ゾーニングやルートの設定、ガイドの養成などが重要。

「遺伝的多様性の保全を図るBRの役割」

吉丸博志 森林総合研究所 多摩森林科学園園長
▽遺伝的多様性での個性を大事にしたい。同じ種の中の個性的遺伝は遺伝的資源となるので重要。地域の財産として遺伝的資源を残すことが大切。

「BR国際ネットワーク会議報告」

酒井暁子 横浜国立大学准教授
▽現在のユネスコエコパークは117国内で598カ所存在す

る。世界の気候変動とエコパークとの関連や改善点などを協議している。メディアの活用で地域をPRしていくことが重要。

「綾ユネスコエコパーク設定までの経過」

朱宮文晴 日本自然保護協会 保全研究部長

▽エリアは2市、2町、1村が関わる。森林が80%。1960年代から自然にやさしい様々な取り組みを実施（有機農業など）。景観に配慮し、景観条例も制定。ガイドボランティアの養成、ガイドブック作成、各種イベントの実施（照葉樹林サミットの開催など）。地元から主体的に情報発信している。町の人間と外の人間との関係が身近。一つ一つの取り組みの積み重ねが有効であり重要。ブランドロゴが各所で使われPR効果が向上する。結果として地域の活性化につながる。

第二部 記念講演

【演題】

ユネスコエコパークを通じた地域活性化と綾町の取り組み

【講師】

河野耕三氏

（宮崎県綾町役場企画財政課 照葉樹林文化推進専門監）

今年7月に「綾ユネスコエコパーク」として登録が決定し、世界に認められた宮崎県綾町で照葉樹林文化推進専門監として活躍されている「河野耕三氏」を招き、記念講演が行われました。河野氏は、綾町がエコパーク登録への申請を行なったきっかけや、申請に至るまでの歴史的背景と経過、申請前までのエコパーク的取り組みの実績、取り組みの総合評価として申請を行なったことなどについて、詳しく説明されました。そのなかで、綾町は、エコパークの登録を目的に活動してきたのではなく、今までの積み重ねがエコパークの理念に合致し認められたものと話され、これから100年かけてエコパークを核としたまちづくりに取り組み始めている現状も述べられました。河野氏は、学生時代から全国の植生調査を行なっている植生・植物社会学の第一人者で、これまで30年近く綾町の照葉樹林保護や照葉樹林プロジェクトなどにかかわられています。

綾ユネスコエコパークは：

- ▽総面積 14,580ha
- ▽核心地域 682ha
- ▽緩衝地域 8,982ha
- ▽移行地域 4,916ha

となっております。

はじめに、渡部勇夫総務企画課長から「ユネスコエコパークで只見町は何を目指すのか？」について問題提起があり、只見町の概要や課題、ユネスコエコパーク登録への期待などについて述べました。

その後、パネルディスカッションに入り、鈴木和次郎町プラセンター館長の進行により9名のパネリストが意見を述べましたので紹介します。



檜村 利道 氏
福島大学名誉教授

▷自然に直に接し学んでいくためにコースを決めガイドをつける。学習するためのデータベースをつくる。調査研究を行う。



崎尾 均 氏
新潟大学教授

▷魅力ある自然をうまく語れる、伝えられる人材（ガイド）を育成していくことが重要であり必要になる。



吉丸 博志 氏
森林総合研究所
多摩森林科学園園長

▷ガイドの養成、教育に役立つ調査結果を残していく。情報を保存しておくことが大切。



酒井 暁子 氏
横浜国立大学准教授

▷自己発見することから始めていく。主体的に計画を立てていくことが必要。町が一丸となつての取り組みを。



朱宮 丈晴 氏
日本自然保護協会
保全研究部長

▷地域にとって何を将来に伝えていく必要があるのか考える。子孫へ豊かな自然を残していくことが重要。綾町のエコパーク登録までの取り組みは自然保護の画期的な取り組み。



河野 耕三 氏
宮崎県綾町照葉樹林
文化推進専門監

▷地域住民が何ができるか考え、役場がサポートしていく。この構図ができれば将来的に外から注目される町になる。興味をもたれる町に変わっていく。



佐藤 順子 さん
(入叶津)

▷出稼ぎに行かなくても商売ができる町、希望の持てる町になることを願っている。エコパーク登録になっても夢と希望の持てる明るい町になることを願う。



鈴木 サナエ さん
(只見)

▷エコパークという全世界の冠がつけられればすばらしい。子どもたちが自然に対する心を養っている。只見の自然が教育の中心になればすばらしい。



目黒 道人 さん
(舘ノ川)

▷自然保護と自然の暮らしについて学んでいきたい。普段生活している只見のすばらしさを学んでいきたい。外から只見を訪れ、自然に親しみ学んでもらう。それが地域活性化に繋がってほしい。

「町民みんなで考え、取り組みましょう！」

第42回只見町文化祭

第42回を迎えた只見町文化祭が、11月3日から4日の二日間、町下町民体育館をメイン会場に開かれ、町内外から延べ2600人が来場、文化の魅力にふれる、年に一回の祭典に人びとが集い、にぎわいました。



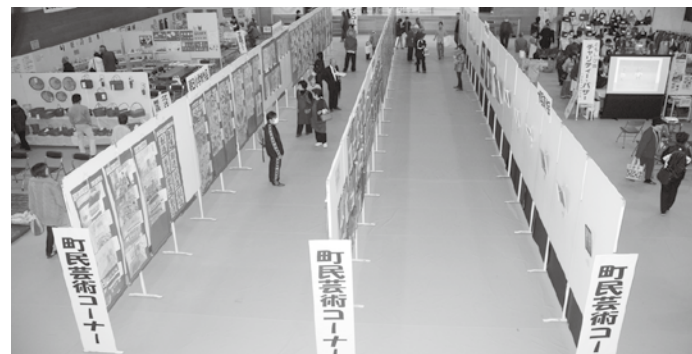
▲目黒町長と関係者によるテープカット



▲開館式で披露「只見小鼓笛演奏」

町下町民体育館前で行われた開館式で、実行委員会会長の目黒町長は「昨年は東日本大震災や新潟・福島豪雨と、大災害に見舞われ、文化祭も規模を縮小しましたが、今年は新たな内容の文化祭となりました。メインコーナーでは、ユネスコエコパークへの登録を目指す町の取り組みを紹介しています。この登録は地域活性化の手がかりで、その後の全町民による取り組みがとても重要です。皆様のご協力をお願いします。また、会場内にはすばらしい作品が展示されていますのでご鑑賞ください」とあいさつしました。続いて、目黒町長、齋藤邦夫町議会

オープニング・セレモニー



▲メイン会場の町民体育館

議長、飯塚恒夫町文化協会会長、渡部仁一町教育委員長職務代理の4名によりテープカットが行われ、只見小学校児童による鼓笛隊演奏がセレモニーに華を添えました。演奏が終わると詰めかけた方々は次々と入場されました。

文化の魅力にふれた二日間

今年の文化祭は「地域の魅力を再発見」をメインテーマに行われ、芸術作品の展示と併せ、各コーナーの体験メニューも豊富で、来場者の真剣に取り組み姿がそこかしこで見られました。メインコーナーでは、ユネスコエコパークの紹介と、その登録を目指す町を取り組んでいる内容などをパネルや冊子で紹介、



▲世代間交流コーナーの折り紙体験



▲ユネスコエコパークについて紹介したメインコーナー



▲貴重な遺物が展示された「黒谷館跡」発掘コーナー

つなげよう・広げよう・文化の絆 ～地域の魅力を再発見しよう～



只見小体育館で開かれた野球教室▲



「ぼくとわたしの朝ごはんコンテスト」入賞者のみなさん▲

華やかに、美しく...

只見町文化協会 芸能発表会

只見町文化祭事業の一環として、11月11日、只見町文化協会芸能発表会が、季の郷・湯ら里で開かれました。出演団体は、只見音楽研究会、宝生流謡曲研究会只見松楓会、コーラス・はなみずき、はぎの会、瞳の会、只見民謡会、只見つくし会、蒲生花輪踊り保存会、天領只見仙嶽太鼓保存会の文化協会に加盟する9団体の皆さんで、美しい歌声や華やかな舞踊、さらに勇壮で迫力のある太鼓演奏などを次々と披露、お互いのできばえをたたえ合いながら交流し、親睦を深めました。

また、大勢の来場者は、最後の演目が終了するまで大きな拍手を送り、芸術の秋にふさわしい一日を出演者とともに過ごしました。



訪れた方には職員が詳しく説明していました。
健康づくりコーナーでは「ぼくとわたしの朝ごはんコンテスト」の表彰式が行われ、入賞者には久保副町長から賞状や記念品が手渡されました。また、橋本重厚福島県立医科大学准教授の血圧管理に関する講演会も開かれました。
生涯学習展示コーナーでは今年発掘作業が行われた「黒谷館跡」から出土した土器などの貴重な遺物が展示され、来場者の目を引いていました。

町民芸術、手工芸、町民文芸、民芸品、只見高校PRの各コーナーには努力の成果がうかがえる作品が展示され、カメラに収める方も見受けられました。
只見町赤十字奉仕団が行なったバザーやNPO法人こまどりの雑貨販売、体育館ピロティで行われた物産販売なども大勢の方でにぎわい、大好評でした。さらに、只見小学校体育館では、元ロケットマリインズの和田孝志投手らを講師に招き、野球教室が開かれ、小中学生が憧れの元プロ野球選手から練習のコツなどのアドバイスを受けていました。また、森林の分校ふざわでは4日に森林のふれあいコンサートが開かれ、さわやかな歌声や楽器演奏が披露されました。

今年も、テーマのとおり、訪れた方々が思い思いに文化を体験し、文化に親しみながら、地域の魅力を再発見できた文化祭になったと感じました。



ろくろを使った陶芸体験も人気▼



町内全域環境放射線量 モニタリングメッシュ調査

只見町では、独自の取り組みとして、町民の皆様の健康不安を解消することや、大気中の放射線量がどのような状況になっているのか確認することなどを目的とした「環境放射線量モニタリングメッシュ調査」を平成23年度から24年度にわたり行なっています。この調査によって測定された空間線量の数値について報告します。なお、調査は今後も継続して行なっていく予定です。測定結果については、随時お知らせいたします。

測定方法

調査は、町内53カ所の測定地点を設定し、町の職員がシンチレーション式放射線測定器で地面から地上1メートルと1センチの高さの空間線量を1カ所につき4回測定、その平均値を記録する方法で行いました。

リアルタイム線量測定システム

文部科学省の整備事業により設置された線量測定システムでは、リアルタイムで空間放射線量の数値を確認することができます。只見町の設置場所は次のとおりです。

- ▽リアルタイム測定システム
 - 青少年旅行村いこいの森
 - 只見・朝日・明和の各小学校
 - 只見中学校
 - 只見高等学校
- 只見・朝日・明和の各保育所
- 只見町役場
- ▽可搬型モニタリングポスト
 - 小林 上照岡教員住宅
 - 只見 町下野球場

主要道路の放射線量を測定

平成24年9月には特殊な測定機器を車両に搭載し、町内の主な道路を走行して大気中の放射線量を測定しました。この調査

結果については、後日、確認方法などをお知らせします。

なお、今回の測定値については0・2マイクロシーベルトを超える地点はなく、国の示す追加被ばく線量の基準値は下まわりました。なお、今後も継続し、調査を行ないます。

環境放射線量モニタリングメッシュ調査結果 (単位：マイクロシーベルト/時間)

番号	地区名	測定地点	平成23年11月	平成24年5月	平成24年10月	23年からの増減	24年5月からの増減
1	十島	字間々田地内道路上	0.08	0.09	0.08	0.00	-0.01
2	塩沢	国道252号と十島橋の合流地点	0.09	0.08	0.07	-0.02	-0.01
3	寄岩	寄岩集会所前	0.08	0.09	0.08	0.00	-0.01
4	蒲生(宮原)	旧蒲生公民館前国道上	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
5	蒲生(久保)	蒲生集会施設 雪の里	0.08	0.08	0.07	-0.01	-0.01
6	蒲生(居平)	居平地内道路上	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
7	蒲生(小八木沢)	小八木沢地内国道上	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00
8	叶津(番所)	叶津番所前	0.08	0.07	0.08	0.00	0.01
9	叶津(入叶津)	字入叶津地内道路上	0.09	0.08	0.08	-0.01	0.00
10	新町	只見高校前国道	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00
11	只見(駅前)	只見駅前	0.09	0.08	0.08	-0.01	0.00
12	只見(上町)	字上町地内道路上	0.08	0.08	0.09	0.01	0.01
13	只見(岩崎)	町道路上	0.10	0.08	0.09	-0.01	0.01

番号	地区名	測定地点	平成23年 11月	平成24年 5月	平成24年 10月	23年から の増減	24年5月 からの増減
14	宮瀨	宮瀨公民館前 国道	0.09	0.09	0.09	0.00	0.00
15	舘ノ川	舘ノ川公民館前 国道	0.09	0.08	0.07	-0.02	-0.01
16	黒沢	長福寺前 国道	0.09	0.09	0.08	-0.01	-0.01
17	檜戸	字宮ノ前地区国道上	0.07	0.07	0.10	0.03	0.03
18	荒井原	広瀬神社前 国道	0.08	0.07	0.07	-0.01	0.00
19	下福井	下福井公民館前	0.08	0.07	0.09	0.01	0.02
20	上福井	上福井集会所	0.10	0.09	0.08	-0.02	-0.01
21	小川	小川公民館前 (県道)	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
22	黒谷沖	倉田屋前 三叉路	0.09	0.07	0.07	-0.02	0.00
23	根本沢	字岑峯沢地内道路上	0.07	0.08	0.08	0.01	0.00
24	黒谷入 (白沢)	字白沢地内道路上	0.08	0.07	0.09	0.01	0.02
25	黒谷入 (倉谷)	倉谷橋	0.11	0.09	0.09	-0.02	0.00
26	長浜	長浜公民館	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
27	荒島	字宮ノ前道路上	0.08	0.08	0.09	0.01	0.01
28	熊倉	熊倉公民館	0.10	0.08	0.08	-0.02	0.00
29	亀岡	字山崎地内道路上	0.09	0.08	0.08	-0.01	0.00
30	深沢	字深沢地内道路上	0.12	0.10	0.10	-0.02	0.00
31	大倉	大倉公民館	0.09	0.07	0.09	0.00	0.02
32	小林 (郵便局)	明和郵便局前	0.09	0.07	0.08	-0.01	0.01
33	小林 (保育所)	明和保育所	0.10	0.11	0.10	0.00	-0.01
34	二軒在家 (九々生)	字九々生地内道路上	0.11	0.09	0.08	-0.03	-0.01
35	二軒在家 (岩下)	字岩下地内道路上	0.09	0.08	0.08	-0.01	0.00
36	塩ノ岐 (柳原)	塩ノ岐集会所施設前	0.12	0.09	0.10	-0.02	0.01
37	塩ノ岐 (天沼)	天沼橋	0.12	0.10	0.11	-0.01	0.01
38	塩ノ岐 (間丸貝)	字間丸貝地内道路上	0.12	0.11	0.12	0.00	0.01
39	梁取	梁取公民館	0.11	0.09	0.09	-0.02	0.00
40	坂田 (仮安)	坂田公民館	0.10	0.09	0.11	0.01	0.02
41	坂田 (篠輪)	仲村橋	0.12	0.10	0.11	-0.01	0.01
42	布沢	森林の分校 ふざわ	0.12	0.11	0.10	-0.02	-0.01
43	布沢 (夕沢)	夕沢橋	0.11	0.09	0.09	-0.02	0.00
44	布沢 (大田)	字大田地内道路上	0.11	0.09	0.11	0.00	0.02
45	叶津 (入中島)	字入中島地内道路上	0.10	0.07	0.08	-0.02	0.01
46	大字福井	字大和久平道路上	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00
47	黒谷 (九日田)	字九日田地内道路上	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
48	只見 (郵便局)	只見郵便局前	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00
49	熊倉	字杉沢地内道路上	0.10	0.08	0.09	-0.01	0.01
50	長浜	朝日診療所	0.09	0.08	0.09	0.00	0.01
51	深沢	湯ら里 正面玄関前	0.12	0.10	0.12	0.00	0.02
52	只見 (赤沢)	字赤沢地内道路上	0.08	0.08	0.08	0.00	0.00
53	小林	旧明和小学校校庭	0.29	0.13	0.26	-0.03	0.13

※測定の高さは、地面から地上1メートルのところです。※平成23年11月の調査は業者に委託し実施しています。
 ※この表の他に福島県が行う調査の測定地点が19地点あります。詳しくは県のホームページをご確認ください。

目黒吉久氏 只見町長に当選



▲当選証書を受け取る目黒吉久氏

任期満了に伴う只見町長選挙は、11月25日に投票が行われ、無所属で現職の目黒吉久氏（60）が当選しました。目黒氏は2期目となります。

（当）

1927

目黒吉久（60）

1902

菅家俊一（67）

▽町長選挙開票結果

（確定得票）

当選証書の付与は26日に、役場本庁で行われ、町選挙管理委員会の吉津五郎委員長から目黒氏に当選証書が手渡されました。任期は平成24年12月16日から平成28年12月15日までです。吉津委員長はあいさつで「まれにみる僅差ではありますが、結果が出た以上、すべての町民が力を合わせ将来に向かって輝かしい町政が執行されることを祈念します」と述べました。目黒吉久町長の2期目の初登庁は12月17日の午前9時の予定です。

只見町チーム2年ぶりの力走 第24回ふくしま駅伝

11月18日に号砲が鳴り響いた、第24回ふくしま駅伝に只見町チームが昨年の豪雨災害を乗り越え、2年ぶりに出場しました。今回の成績は一昨年の総合46位から45位の6時間3分42秒でゴール、町の部でも一昨年の26位から25位と、いずれも順位アップの力走を見せました。競技は白河市総合運動公園陸上競技場から福島市の県庁前までの16区間、96・5キロメートルのコースで51チームの選手により健脚が競われました。只見ラン

ナーズが駅伝事務局となり参加している只見町チームは、ナンバーカード29、今年も中学生や高校生が中心の若さあふれるメンバー構成で大会に臨み、16人全選手が全力を振り絞り、町の代表として町民の皆さんを元気づける走りを見せました。福岡県から災害復旧作業の応援職員として4月より只見町役場に勤務された「小川浩一郎さん」に感想を聞きましたので紹介しま



小川 浩一郎 さん
（只見町役場）
第12区 7・0km

大会に関わった皆さん、お疲れ様でした。このような大会は福岡では開催されていないので、ちょっと過酷で、でも最高の思い出ができました。応援していただいた只見町の皆さん、本当にありがとうございました。



▲2年ぶりに参加した只見町チーム



▲只見駅をスタートする参加者

昨年7月に発生した新潟・福島豪雨の影響で運行できなくなっているJR只見線の只見駅から会津川口駅（金山町）の間を歩く只見線応援イベント「ここちいい散歩」が11月11日に行われ、町内外から約100人が参加しました。参加者は、中間地点の会津大塩駅（金山町）を目指し、只見と会津川口の両駅からスタート、線路と並行している国道252号を晩秋の景色を眺めながらマイペースで歩きました。人影のない駅や列車の通らない線路を目にした参加者は改めて早期再開通への願いを強くしていました。ゴール地点の会津大塩駅近くにある大塩体育館では交流会も催され、奥会津ならではの秋のごちそうを堪能しました。

只見線応援企画 ここちいい散歩

只見線の早期復旧を願う...

風評被害を払拭、交流活動を強化 柏市と学校給食用コメを交換

ふるさと交流都市提携を結び交流事業を展開している千葉県柏市と只見町は、今年の秋に地元で収穫されたコシヒカリ60キロをお互いの学校給食で使用するコメとして11月7日に交換しました。

この事業は、福島原発事故の影響による農産物の風評被害を払拭することや、食育の推進、農家の生産意欲向上などを目的に交流事業の一環として、今年初めて行われたもので、交換セレモニーでは、目黒町長と山口秀治柏市教育委員会学校保健課長が目録や5キロ入りの米袋を交換しました。目黒町長は「これを機に交流が深まるよう期待したい。只見産米が安全でおいしいことを柏市にアピールしていくきっかけとした

い」と話し、山口学校保健課長は「このような活動を拡大していきたい。只見産米の安全性とおいしさを市民にアピールしていく。長く続けていきたい」と考えを述べました。

交換されたコシヒカリは11月19日の給食で出され、只見町は柏市のコメを、柏市は只見町のコメを、子どもたちがおいしく食べました。



▲新米のコシヒカリを交換する目黒町長(中央右)と山口学校保健課長(中央左)

目黒宇一さんに経済産業省所管統計調査功労統計調査員感謝状

只見町統計調査員の目黒宇一さん(黒谷)に、経済産業省所管統計調査功労統計調査員感謝状が贈られました。

伝達式は、10月31日に役場本庁で行われ、目黒町長から目黒調査員へ感謝状が手渡されました。

目黒調査員は、昭和54年から平成21年の間に商業統計調査を8回、商工業実態基本調査と経済センサスを各1回調査され、統計調査の活動推進や完全実施に貢献されています。



▲感謝状を手にする目黒宇一さん(中央)

只見小学校・父母と教師の会 福島県教育委員会から表彰

只見小学校の父母と教師の会(皆川淳会長)が福島県教育委員会から11月1日に表彰されました。

只見小学校の父母と教師の会では、児童・教職員・保護者が一丸となり、同校の花壇をはじめ各地域に整備されている花壇の世話をし、緑化と教育環境の美化を推進されました。昨年の取り組みでは、豪雨災害の影響で、夏の時期に思うような活動ができず、苦労しましたが、諦めずに花の世話を続け、最後まで彩り豊かな花壇が楽しめました。自然を愛し保護する心を養うこのような活動が高く評価され、社会教育の振興に貢献されたとして表彰されました。



▲表彰状を手にする皆川淳会長(中央)

只見町の産業振興に大きく貢献 株式会社ヒロタテクノの竣工式

株式会社ヒロタテクノ(山内宏二代表取締役)の新工場が杉沢地内に建設され、11月7日と同工場内で竣工式が行われました。式には目黒町長はじめ齋藤邦夫町議会議長や関係者が出席し、工場の完成を祝いました。

はじめに神事が執り行われ、山内代表取締役や目黒町長、齋藤町議会議長ら出席者全員が神殿に玉串を奉げ、安全な作業と工場の繁栄を祈願しました。その後、工場内の見学会が行われ、出席者は最新機器の稼働状況や製作された精密部品などの説明を受けました。

同工場は「ふくしま産業復興企業立地補助金」の対象企業に指定され、福島県、只見町、事業者で企業立地協定を結び設置されています。



▲新工場を見学する目黒町長(右から2人目)

つる植物の生態

11月11日に、ブナと川のミュージアムでブナセンター講座「つる植物の生態」が鈴木和次郎ブナセンター館長を講師に開かれ、12名が参加しました。



▲つる植物について説明する鈴木和次郎館長

▽つる植物とは…

自らの身体を支える支持組織を十分に発達させず支柱や樹木にとりつき成長する植物種の総称で、草、木、栽培作物があります。種類は、巻きつき型、巻きひげ型、吸着型、寄りかかり型、複合型、絞め殺し植物などに分けられます。巻きつき型の場合、支持木に巻きつくことで成長し、幹回りの太い木には巻きつきません。また、つるの先端部で支持木を探すので、支持木が無くなったら成長できなくなりますが、被害としては樹幹にくいこみ締め付ける「くいこみ被害」や、樹冠部を覆って光合成を妨げる「覆い被害」があります。



▽講座の内容は…

参加者からのつるの伐りについての質問に対し、既に絡まっているつるを切るのには支持木に傷を付けるので、つるを木から取り外すことが重要と解説、また、森林の外側を覆うようにしてしげるつる植物は、直射日光をさえぎり、カーテンのように中の環境を一定に保つという説明もありました。つる植物の種類は、熱帯地方ほど多く、寒冷な地域になると少ないが、日本では特異的に南から北まで多くの種類が生育し、天然林ほど多種になるとのことです。

参加者からは、つる植物の生態を詳細に分かりやすく学ぶことができ良かったとの声が聞かれました。ブナセンターでは今後も講座を開いていきます。

自然観察会

秋のキノコ観察会

只見町ブナセンターでは身近なキノコに触れ合う「キノコ観察会」を10月28日に行いました。観察地は只見町青少年旅行村で、村内のキノコを採取し調べました。この日は、朝から小雨が降り、肌寒い天候でしたが、旅行村に宿泊されていた方々の参加もあり17名でキノコを探しました。

ブナと川のミュージアムから旅行村へ移動する途中、ミュージアム近くの只見川公園に生えていた「ササクレヒトヨダケ」というキノコを観察しました。このキノコは白いささくれた布をすっぽり頭からかぶったお化けのような外見をしていて、遠目からは、よきよきと白い棒のようなものが生えているように見えます。そして、夜のうちに白かった本体は



▲ササクレヒトヨダケ

真っ黒なインクのように溶け、朝には裾がまくれ上がり、壊れたコウモリ傘のような姿になることから、この名前がつけました。

旅行村に到着すると、参加者は思い思いの場所でキノコを探し、30分ほどで様々なキノコを採取することができました。採取したキノコは、ミュージアムに持ち帰り、キノコに詳しい地元の方の指導や図鑑などを使いながら名前や特徴を調べました。なかには名前が不明なキノコもありましたが、名前が確認できたキノコは20種類ありました。参加者は採ったキノコを観察しながら、その種類の多さに自然の豊かさを感じていました。





◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	922,599,000	506,945,612	54.95
2	地方譲与税	69,000,000	20,145,087	29.20
3	利子割交付金	700,000	316,000	45.14
4	配当割交付金	200,000	105,000	52.50
5	株式等譲渡所得割交付金	1,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	40,000,000	24,038,000	60.10
7	自動車取得税交付金	11,000,000	6,138,000	55.80
8	地方特例交付金	977,000	977,000	100.00
9	地方交付税	2,528,814,000	1,782,146,000	70.47
10	交通安全対策特別交付金	1,000,000	512,000	51.20
11	分担金及び負担金	23,972,000	11,236,406	46.87
12	使用料及び手数料	29,948,000	15,398,427	51.42
13	国庫支出金	627,283,000	35,147,865	5.60
14	県支出金	1,623,765,000	325,044,721	20.02
15	財産収入	21,650,000	14,897,511	68.81
16	寄附金	3,000	574,927	19,164
17	繰入金	580,648,000	33,000,000	5.68
18	繰越金	211,820,000	211,820,720	100.00
19	諸収入	66,076,000	58,784,607	88.97
20	町 債	558,900,000	0	0.00
	合 計	7,318,356,000	3,047,227,883	41.64

◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	支出済額	執行率
1	議 会 費	74,603,000	42,060,945	56.38
2	総 務 費	1,052,198,000	756,567,942	71.90
3	民 生 費	699,417,000	221,636,942	31.69
4	衛 生 費	599,671,000	213,447,157	35.59
5	労 働 費	13,000	0	0.00
6	農 林 水 産 業 費	590,442,000	105,306,369	17.84
7	商 工 費	582,887,000	187,656,276	32.19
8	土 木 費	455,413,000	141,243,354	31.01
9	消 防 費	211,425,000	181,509,808	85.85
10	教 育 費	358,202,000	207,676,387	57.98
11	災 害 復 旧 費	1,963,581,000	690,733,093	35.18
12	公 債 費	656,566,000	223,239,078	34.00
13	予 備 費	73,938,000	0	0.00
	合 計	7,318,356,000	2,971,077,351	40.60

◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入率	支出済額	執行率	
1 国民健康保険事業	569,044,000	234,971,958	41.29	354,367,917	62.27	
2 国民健康保険施設	456,115,000	111,902,479	24.53	210,751,940	46.21	
3 後期高齢者医療	128,189,000	13,403,800	10.46	84,636,290	66.02	
4 介護保険事業	577,916,000	266,185,652	46.06	268,902,584	46.53	
5 介護老人保健施設	243,328,000	78,804,540	32.39	218,956,901	89.98	
6 訪問看護ステーション	21,000,000	3,418,997	16.28	10,769,523	51.28	
7 地域包括支援センター	10,000,000	837,160	8.37	5,032,148	50.32	
8 簡 易 水 道	305,103,000	32,160,530	10.54	68,237,095	22.37	
9 観光施設事業	85,000,000	0	0.00	28,832,838	33.92	
10 交 流 施 設	98,080,000	0	0.00	93,509,064	95.34	
11 集落排水事業	502,187,000	45,345,990	9.03	184,096,677	36.66	
12 朝日財産区	10,400,000	10,270,355	98.75	117,500	1.13	
	合 計	3,006,362,000	797,301,461	26.52	1,528,210,477	50.83

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成24年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

平成24年度一般会計当初予算は、現年度予算58億4,500万円です。スタートしましたが、4回の補正で73億1,835万6千円になりました。この他に前年度から繰り越した予算が7億8,289万4千円ありますので、総額81億1,255万円となっています。

歳入のうち地方交付税を平成23年度と比較してみますと、普通交付税（7月に交付額算定）が24億2,881万4千円となり、前年度対比1億9,086万円の増となっております。特別交付税（平成25年3月に交付額決定）については、例年度並みの交付を見込んでおります。

（※地方交付税は、「普通交付税」と「特別交付税」の2種類に分かれています。）

主な事業内容は、役場庁舎新築事業Ⅱ2,973万円、ユネスコエコパーク検討事業Ⅱ71

3万円、只見地区センターアスベスト除去事業Ⅱ6,365万円、災害救助事業Ⅱ5,635万円、南会津地方環境衛生組合負担金Ⅱ1億3,068万円、中山間地域等直接支払事業Ⅱ2,069万円、広域圏消防費負担金Ⅱ1億4,191万円、克雪対策事業補助金Ⅱ2,000万円、定住促進等住宅整備事業Ⅱ7,722万円、集会所施設

整備事業Ⅱ1,982万円、黒谷館跡発掘調査事業Ⅱ2,089万円、災害復旧事業Ⅱ19億6,358万円などです。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。

My
Town
Topics



明和保育所 (11月21日)

じょうずに
かわいく
名演技

保育所

お

ゆ

う

ぎ

か

い



朝日保育所 (11月22日)



只見保育所 (11月28日)

記 「明和山の会」結成20周年
念登山で福島の復興を祈願

明和山の会（添田利紀会長）が今年、結成20周年を迎え、その記念事業として8月5日から6日に参加者19名で富士山に登りました。富士登山は同会が結成してから今回で3回目、参加者全員が山頂に到着すると「がんばろう福島・復興祈願登山」と書かれた横断幕を手に記念撮影し、福島県の復興を祈りました。さらに11月11日には17名が日本百名山の一つ両神山（埼玉県）への登山も行いました。今後も随時、名峰の頂を目指すとということです。



▲富士山頂で一日も早い復興を願った参加者

只 JR只見線開通70周年記念イベント
見駅前で魚沼市民と交流会行う



▲参加者全員で開通70周年を祝い記念撮影

只見線の開通70周年を記念した魚沼市民らとの交流イベントが11月1日に只見駅前で行われました。目黒町長はじめ関係者や只見保育所児が、魚沼市民ら約50人を乗せた只見線が到着すると「只見線開通70周年おめでとう」と書かれた横断幕を手に笑顔で出迎えました。その後只見駅ホームで記念撮影し、駅前広場で歓迎アトラクションが催され、もちつきや抽選会で盛り上がりました。目黒町長は「只見線を利用し魚沼市との交流をさらに盛んにしていきたい」と話しました。

大 只見町小中学校音楽祭 水害に負けない元気と勇気をアピール

11月8日に只見町小中学校音楽祭が只見中学校体育館で開かれ、只見小の2～4年生と朝日・明和小の3～4年生児童、只見中全校生徒が参加しました。児童生徒は、短い期間で一生懸命に練習した成果を披露、各小学校の合奏では息の合った楽器演奏を、合唱では元気あふれる歌声を響かせました。また、只見中全校生や特設合唱部の合唱では清らかで繊細な美しい歌声が保護者らを感動させていました。参加者の元気と勇気が伝わる音楽祭となりました。



▲只見中学校特設合唱部の合唱

元 アスリート夢先生「心の授業」 全日本バレーボール選手がやってきた

ただみコミュニティクラブの主催で、11月9日にアスリート夢先生「心の授業」が行われ、明和小学校に元全日本男子バレーボール代表で北京五輪出場選手の「齋藤信治さん」が来校しました。齋藤さんは、同校児童にバレーボールの技術指導をしたり、給食を一緒に食べたりして触れ合った後、4年生から6年生の児童を前に学生時代の頃から全日本代表選手として活躍するまでのバレーボール人生を熱く語り、夢をあきらめないことの大切さを伝えました。



▲明和小児童に体験談を話す齋藤信治さん

只 福島県小学生バレーボール会津大会 見ガッツスポーツ少年団が優勝！



▲賞状や盾を手に優勝を喜ぶ只見ガッツスポ少

うつくしまふくしま第35回県小学生バレーボール選手権大会会津地区大会が11月10日から11日に高田体育館（会津美里町）などで開かれ、女子は只見ガッツスポーツ少年団が見事に優勝しました。只見ガッツのメンバーは1回戦から安定したチームプレーで、優勝までに5回戦を勝ち進みました。この大会には会津地域から男子3チーム、女子21チームが出場し熱戦が繰り広げられました。只見ガッツは12月に福島市で開かれる県大会に出場します。

参 小林地区農産物成果発表会 加者全員で野菜などを審査



▲出品物の審査を全員で行う参加者

小林農事組合（馬場敏行組合長）では、小林区民の皆さんが「村の達人に学ぶ」懇談会をとおして、よりよい野菜づくりを行なってきた成果発表会を、11月15日に小林公民館で開き、手塩にかけ育てられた野菜など101点が所せましと並べられました。この日は、参加者41名で出品物を審査、野菜の大きさや形、色つやなどを品評し、全出品者が入賞しました。最高賞の小林区長賞は「橋川利貞」さんの長いもが受賞しました。おめでとうございます。

先生のLife in JAPAN Vol.23

■ Anna・George
 ・1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
 ・2010年8月から只見町英語指導助手。
 ・小学校と中学校で語学の指導を行います。



今年は何年に比べ初雪が早いように思います。私はクリスマスにイギリスへ一時帰りますが、その前にスノーボードに行くことを楽しみにしています。私にとって、南会津のような数多くのスキー場の近くで生活するのは今回が最後になってしまいます。なので今のうちに十分楽しんでおきたいと思います。世界の中でもこの日本はウィンタースポーツをするのに最も適した国の一つだと思います。

只見町の小学校において、とても楽しいハロウィーンの授業をたくさん行いました。今年度はクリスマス授業も同じように楽しく取り組みたいと思います。

す。クリスマスは私の最も好きな時期で、今年には実家に帰り、家族や友達とともに過ごそうと思っています。私はもう2年近くイギリスに帰っておらず、今回の帰省を本当に楽しみにしています。

今年には私にとって、はじめてとなる「感謝祭」の料理を作る年となりました。アメリカでは感謝祭は最も重要な祝日の一つです。しかしイギリスでは通常行われません。アメリカでは、たいてい七面鳥（ターキー）や野菜、そしてピーチパイなどを感謝祭に食べます。私は今まで七面鳥を焼いたことがないので少し緊張していますがチャレンジしたいと思います。

（訳・只見中・平野）



広報ただみ診療所

朝日診療所
 歯科医師 齋藤 さゆり

『美味しく食べてにっこり笑顔』

今回は、歯とお口についてのお話です。歯とお口には、大きく分けて7つの役割があります。

- ① 食べること
 - ② 話すこと
 - ③ 脳への刺激
 - ④ 殺菌作用や免疫物質を含んだ唾液の役割
 - ⑤ 平衡感覚を保つ
 - ⑥ ストレスの発散
 - ⑦ 表情をつくる
- 歯を失うということは、これらの機能を失うことにつながっていきます。

歯を失う2大原因は、虫歯と歯周病です。歯周病は年齢とともに悪化し、40歳以降では急速に悪化するケースが珍しくありません。そして、歯周病が恐ろしいのは、重症化するまで痛みがないことです。そのため、気づいた時には症状がかなり進んでしまっていることが多いのです。

歯周病を悪化させないためには、歯垢や歯石を綺麗に取り除く必要があります。

「痛くないから」、「時間がないから」、「痛いことをされそうだから」と遠慮をなさらず、定期的（年に2〜3回）な歯科検診をおすすめいたします。専門的な清掃、口腔内の状況にあった適切な口腔清掃アドバイスなどを

せていただきます。

定期的な歯科検診と同じように大切なことがもう一つあります。それは「楽しい食事をする」ということです。笑いは健康に非常に良い影響を与えます。楽しい食事をすることもまた、健康にとってもいいのです。

まず、顔の筋肉が刺激され、よく動くようになり、食べこぼしなどがしにくくなります。舌が刺激され、食べ物を噛み砕いたり飲み込んだりする動きが良くなります。さらに、唾液の分泌も促進され消化が良くなります。食べかすがお口の中に残りにくくなります。そしてしっかりと噛むことにより、お口の機能が維持され滑舌が良くなったり、話すことが楽しくなったりします。

お口の環境をきれいに保ち楽しい食事をすることは、健康な毎日を送る土台となります。「美味しく食べてにっこり笑顔」寒さに負けず健康な毎日をお過ごしください。



共有林はムラの財産／只見町の共有林に学ぶ④

日本の入会地研究と
只見町の共有林

私たちは只見町の共有林の管理ルールに興味をもち、調査を進めています。とくに集落ごとに異なる管理ルールがとられている、ということに大きな関心をもっていて、その理由を調べています。

只見町では集落ごとに共有林を管理するルールが異なっていますが、日本全国でみた場合、ルールはどのくらい異なるものなのでしょうか。この問いに答えるためには、日本で行われてきた入会地の研究がとも参考になります。

入会地は集落のみんなが共同して利用している山林原野であり、共有林も入会地のひとつとして考えることができます。入会地に対する学問的な関心は明治時代から始まります。明治時代に作られた民法は、西洋的な土地所有のありかた（一人一人が土地を所有する権利がある）

を日本に輸入しました。しかし、入会地の土地所有のありかた（集落のみんなが土地を所有する権利がある）は西洋的な土地所有のありかたとは異なるもので、入会地を民法の中でどのように位置づけるのが大きな関心事だったので。

入会地に対する研究は戦前から数多く行われてきました。戦後、川島武宜東京大学名誉教授を中心とするグループが精力的に全国の入会地を丹念に調査研究した結果、入会地はさまざまに使いかたをされていることがわかりました。具体的には、住民が入会地の資源（薪・山菜など）を自由に使うというやりかたに加え、集落が中心となって入会地に植林したり、入会地を区分けして住民に自由に使用せたりするやりかたがあることがわかりました。さらに、入会地の使いかたは、集落の産業、集落内の人間関係、集落の歴史などで異なっていることも明らかになりました。

川島先生たちの調査は主に昭

和20～30年代に行われたものです。昭和49年に黒木三郎早稲田大学名誉教授らが林野庁の委託をうけて、全国1440件にも及ぶ入会地を調査しました。これは今までに例を見ない大規模な調査で、その成果は『昭和49年全国山林原野入会慣行調査』という書籍にまとめられています。私はここに掲載されている入会地の情報をもとに統計分析を行い、当時の入会地利用のありかたを分類しました。その結果、①集落が入会地に植林し、住民の利用が制限されているもの、②入会地の使いかたは①と共通するものの、利用する権利は集落に居住している人に加え、集落から離れた人にも与えられるもの、③入会地を区割りして集落の住民に与えるもの、④入会地の資源を住民が自由に利用するもの、という4つのタイプに分類できることがわかりました。時代が変化することと②のような新しい利用のありかたが出てきましたが、入会地にはさまざま利用のしかたが

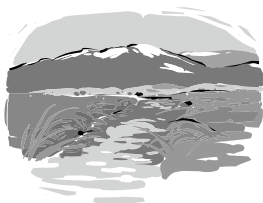
あるというところは変わりません。また、集落の特徴によって、4つのタイプのうち、どれになりやすいかが決まる、ということも明らかになりました。

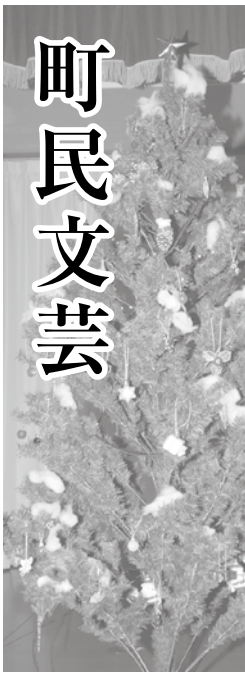
日本の入会地研究の成果をもとに考えると、只見町の共有林の管理ルールのありかたは特異なものというよりは、多くの地域に共通するものだといえそうです。つまり、集落のありかたによって共有林の利用のしかたが違ふ、というのは只見町だけではなく、日本全国でもあてはまるものなのです。

ちなみに、『昭和49年全国山林原野入会慣行調査』に只見町の事例も1件含まれています。明和地区の二軒在家の入会地です。手もとの資料によると、さきほどの④のタイプに分類されます。只見町の共有林は大規模な全国調査でも注目される貴重なものなのです。



戦後、さかんに植林された入会地





町民文芸

只見短歌会

十月詠草

大塚栄一 指導

小倉キミ子

夕明り残れる畑に大根引く人は影絵の如くに動く

関谷登美子

災害で途絶えし列車の再開日思ひめぐりて我も乗り来し

五十嵐夏美

病みつぎて楽しむ暇もなく逝きし甥の窠れし頬擦りつぐ

渡部ゆき子

猛暑にて山の木の實も不足らし熊の出没放送続く

古川 英子

弱き身に看取りし義兄も遂に逝き火葬場への道は紅葉深し

馬場 八智

僅かなる実りなれども娘らに送る樂しみありて続けぬ

目黒 富子

借りるよと独りごとと言ひ晴れし日の空家の庭に蕎麦を広げる

渡部ヨリ子

えごま干す夫は群がる雀らを追ふこと頼み外に出でゆく

新国 洋子

頂きし赤きカトレア卓上の真中まなかに置いて夕餉賑ふ

(出 詠 順)

只見俳句会

十一月例会

目黒十一 指導

一穂

カシラーナカ秋季検閲声高く
吹奏楽山の色付き裾野まで

アツ子

紅葉の目薬の木や名主跡
古里はダム湖となりぬ朴落葉

礼

紅萩の實もつらなりて切り通し
減水の山肌寒し田子倉湖

一灯

横書きの出来ない男実南天
灯下親しちびた鉛筆捨てがたく

邦男

道の辺の馬頭観音銀杏散る
水涸るる村の外れの六地藏

隆堂

身に入むや水につながるもの多し
鷹渡る越後境の明けの空

藤彦

大根が右往左往す堀の中
晴天の銀杏の枝天を刺し

恒夫

観音の在す岩屋や溪紅葉
吊橋を渡る杖音十一月

吉児

父の忌やボジョレヌーボー献じけり
腰痛むや閨に差し入る冬の月

信

千アガール笑顔弾ける秋の空
懐かしき友と語れば小鳥来る

又壺歩

家人なき軒に匂うや花八ツ手
茅刈りの見え隠れする夫の笠

邦夫

文化の日開くカタカナ語の辞典
ダムありて霜なき村に老いにけり

康女

秋麗たしかに老いてゆく身かな
紅葉山茅葺き屋根のそば処

笑羊

人形の髭のゆるみに残る蠅
綿虫や景品積みし展示場

リウコ

熊除けの鈴鳴らしつつ登校す
大根の太くて抜けぬ入日かな

都

秋の日や家路へ急ぐ峠道
野山にも町明かりにも秋時雨

洋子

三度目の谷間の雪のしきりなり
迎うるも送るも清し花八ツ手



今月のお知らせ

RECRUITMENT

募集

平成25年度

只見町奨学生

優秀な人材を育成するため、無利子で奨学資金をお貸しします。希望者は、次の事項に留意され、お申し込みください。

●対象及び条件

- ▽平成25年度に高等学校・短期大学・大学又は各種学校に進学を希望している方で、品行が正しく、学術に優れ、身体強健であること。
- ▽貸与を希望される方の、本籍又は住所が只見町に引き続き6ヵ月以上有すること。
- ▽経済的理由により、修業が困難と認められること。

●利用可能貸与額

- ▽高等学校 月額12,000円以内

電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所	☎ 84-2221
(歯科)	☎ 84-2612
訪問看護ステーション	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

▽私立大学

- 月額40,000円以内
- ▽国立公立大学・短期大学及び各種学校 月額30,000円以内

▽支度金(4年制大学に限る)

- 大学入学時 300,000円以内

●奨学資金の返還

奨学生は、卒業もしくは退学・奨学金辞退等の月より6ヵ月の返還準備期間をおき、7ヵ月目から8年以内に月賦で返還していただきます。

●申込手続

教育委員会・各地区センター・只見中学校・只見高校・南会津高校・町内郵便局・東邦銀行只見支店・J A会津みなみ只見支店にある「願書」に必要事項を記入し、在学校に「推薦書」を作成・交付していただいた上で、家族全員の所得証明書及び住民票(世帯票)を添え、願書等の交付の際に同封される「募集のしおり」の注意事項を厳守の上、

教育委員会事務局に提出してください。

●募集受付期間

2月15日(金)まで

●奨学生の採用決定

教育委員会で決定し本人に通知します。通知は、3月中旬頃になります。

▼問い合わせ

教育委員会事務局学校教育班
☎ 02441-8215320

保健師等をめざす奨学生

只見町では、将来、町の施設で業務に従事しようとして、次のような職種をめざす方に対して奨学資金を貸与します。

●対象となる職種・条件

保健師、助産師、看護師、放射線技師、理学療法士、作業療法士
※法に基づき指定された前項の職種の養成施設に在学または

在所し、国または他の団体から同種類の奨学金の貸与を受けていない方

●貸与額

月額10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定

奨学資金貸与条例により
▽原則として10年以内に返還。

▽ただし、一定の期間内に資格を取得し、資格取得後直ちに町の機関に就職し、その後引き続き10年以上当該業務に従事したときは返還の債務が免除されます。

●申し込み手続

奨学資金貸与申請書に住民票抄本・履歴書・健康診断書等を添えて保健福祉課に提出してください。

用紙等は申し込みのあった方に直接送付しますので、保健福祉課にご連絡ください。また、後日必要書類を提出していただくこととして、進学予定の方も受け付けます。

●募集期間

税 今月の納期

- 12月25日までに納めましょう
- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 後期高齢者医療保険料(5期)

平成25年2月15日(金)まで

▼問い合わせ

保健福祉課保健班
☎ 02441-8417005

平成24年産米の全袋放射性セシウム検査結果

検査完了日 11月30日(金)
検査期間 9月21日~11月30日(試運転調整期間含む)
検査済袋数 59,471袋(11月30日現在)
うち50ベクレルを超えたものはありません。

町民皆様のご協力により、スムーズに検査を行うことができました。ありがとうございました。なお検査結果は下のホームページをご覧ください。

ふくしまの恵み安全対策協議会のホームページ
<https://fukumegu.org/ok/kome>

生活

平成25年度 保育所入所児童申込み受付開始

次により、平成25年度の保育所入所児童の申し込みを受け付けます。入所を希望される場合は期間内にお申し込みください。

●入所基準

平成25年4月1日現在で満1歳以上の児童で、保護者が仕事などをしていないために保育がでない児童

●募集定員

- ▽只見保育所 60名
- ▽朝日保育所 60名
- ▽明和保育所 60名

●受付期間

平成24年12月3日(月)

～12月28日(金)まで
※時間は、午前8時30分から午後5時までで、土曜日、日曜日、祝祭日は除きます。ただし各保育所では土曜日の午前中も受け付けます。

●受付場所

- ▽保健福祉センター
- ▽只見町役場窓口
- ▽只見・朝日・明和保育所
- ▽朝日・明和地区センター

●申込書類

※受付場所に用意してあります。

▽保育所入所申込書
▽保育申告書

●その他

以前、提出された入所申込書の「保育の実施を希望する期間」が平成25年度も申し込まれている場合、今回は保育申告書のみ提出ください。また、平成24年12月現在退所されている児童は申込書が必要となります。

▼問い合わせ

保健福祉課福祉班
0241-84-7010

正しい操作で安全除雪

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

▽作業を行う前に必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。

▽雪詰まりを取り除くときは必ずエンジン停止してから雪かき棒を使って行いましょう。

▽回転部に近づくときは必ずエンジン停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましょう。

▽発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや

町長室日誌

〈 11 月 分 〉

- 1日 只見線（小出・大白川間）開通70周年記念行事・祝賀会
- 3日 第42回只見町文化祭、南会津広域消防署職員採用試験
- 5日 只見川豪雨災害復興協議会
- 6日 臨時庁議、只見町議会全員協議会
- 7日 (株)ヒロタテクノ竣工式典・落成式典
- 8日 第24回ふくしま駅伝只見町チーム結団式
- 10日 第20回只見新そばまつり
- 11日 ここちいい散歩、只見町文化協会第17回芸能発表会
- 13日 平成24年度只見町戦没者慰霊祭
- 15日 只見町職員採用候補者（看護師・保健師）2次試験
- 18日 ユネスコエコパークシンポジウム
- 27日 雪まつり実行委員会
- 28日 只見・金山・昭和省道改修促進期成同盟会、福島県町村会役員会及び知事との懇談会
- 29日 区長連絡協議会町内研修
- 30日 災害派遣職員離任式

後方の障害物には十分注意しましょう。

▽除雪作業中は、雪を飛ばす方向に人や車や建物がないことを確認しましょう。また、除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。

▼問い合わせ

社団法人日本農業機械工業会
03-3433-0415

農業者をめぐる奨学生

町では、将来只見町で農業に従事するため農業後継者育成を目的とする学校に在学する者に、その修学に必要な資金の一部を貸与する制度を設けていま

す。希望者は、お問い合わせください。

●対象者

福島県農業総合センター農業短期大学校、財団法人日本農民教育協会鯉淵学園に在学している者。

※進学予定者も受け付けます。

※国または他の団体から同種の奨学資金の貸与等を受けていないことが条件となります。

●貸与額 月額 10万円以内

●奨学資金の返還及び免除規定

学校を退学した場合や卒業後に農業に従事しない場合は返還義務が生じます。ただし、卒業後直ちに町内において農業に従事し、その後10年以上農業に従

事した場合は返還が免除されま

●応募方法

奨学資金貸与申請書（様式第1号）に、住民票、履歴書、健康診断書並びに申請者が在学する学校長が発行した入学以後の学業成績表、学業及び人物に対する所見を記載した推薦書を添付し、産業振興課農林班に提出してください。

※奨学資金貸与申請書を希望される方は産業振興課農林班までご連絡ください。

●応募期限

平成25年2月22日（金）必着

▼問い合わせ

産業振興課農林班
0241-82-5230

町民の消息

(11月1日～11月30日届出分・敬称略)

■お誕生おめでとうございます

三瓶なる成と翔(男/宏人・美由紀) 只見

■ご結婚おめでとうございます

二軒在家 山内 翔♡叶津 長谷部 祐美

■おくやみ申し上げます

馬場 譽	89歳	長	浜川
渡部 チカエ	99歳	小	川見
藤田 セツ子	84歳	只	見
新國 ウラノ	91歳	只	見
谷沢 ミツエ	87歳	長	浜
菊地 守	88歳	梁	取
五十嵐 チドリ	77歳	坂	田

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成24年11月1日現在

人口	4, 786 (+1)
男	2, 305 (+5)
女	2, 481 (-4)
世帯数	1, 845 (+2)
高齢化率	41.3%

※高齢化率は、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 10 転出 7 出生 3 死亡 5

あとがき
 ▽今年も最後の月を迎えました。振り返ると只見町でも様々な出来事がありました。できるだけ多くのことを皆様にお伝えしようと努力しましたが、紙面の都合などもあり、お伝えできなかったことも多々ありました。来年への反省点といたします。また、情報提供いただいた方々、取材や制作にご協力いただいた皆様に感謝いたします。ありがとうございます。来年も広報ただみをよろしくお願います。▽一年間お世話になりました。皆様よいお年をお迎えください。

町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

地区センター長
馬場 博美

只見地区センター
図書室 ☎ 82-2141

おすすめ新着図書

★いじめられている君へ
いじめている君へ
いじめを見ている君へ



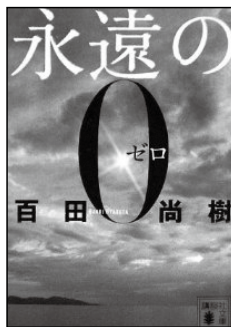
秋元才加ほか／著 (朝日新聞社)
 朝日新聞で連日、大反響をよんだ連載が一冊に。読んで考えてください。家族や友達と話しあってください。63人の著名人からの、命のメッセージ。
 2006年の連載、新聞未掲載も含めた永久保存版。

★かようびのよる



デヴィッド・ウィーズナー／作・絵 (徳間書店)
 それは、ある火曜日の夜のことで。蓮の葉に乗ったたくさんのカエルたちが、池から町をめざして飛び始め…。夜明けまでの出来事をリアルな描写で描き、日米両国で高い評価を受けた傑作絵本。映画を見ているような場面展開が魅力的。

★永遠の0(ゼロ)



百田尚樹／著 (講談社)
 「娘に会うまでは死ねない、妻との約束を守るために」。そう言い続けた男は、なぜ自ら零戦に乗り命を落としたのか。終戦から60年目の夏、健太郎は死んだ祖父の生涯を調べていた。天才だが臆病者。想像と違う人物像に戸惑いつつも、1つの謎が浮かんでくる…。記憶の断片が揃う時、明らかになる真実とは。

★図書室に関するご要望や購入図書のご希望など、お気軽にお寄せください。

アカハジロ

(学名 : *Aythya baeri*)

[カモ目カモ科 ハジロ属]

中型の海ガモ類の一種。マガモなどの淡水カモと比べると、水面に浮くときに尾を水面につけていること、エサをとるときに全身で水に潜ること、飛び立つときに水面を助走することなどが異なっています。

中国東北部・アムール川周辺で繁殖し、中国南部から台湾辺りにかけて越冬します。日本は渡りのルートから外れているので数は少ないですが、全国で記録があります。

只見町では只見湖においてブナセンターの職員により、今年の11月に初めて飛来が確認されました。ダム湖で他のカモたちと混じって生活しています。エサは水中に潜り水草の茎や葉をよく食べています。



アカハジロのメス個体

企画展示

○「只見の巨樹・巨木」展

只見町の巨樹や巨木をパネル展示で紹介いたします。

期 間 : 平成 25 年 1 月 4 日 (金) ~ 4 月 15 日 (月)

※あわせて、平成 25 年 1 月 19 日 (土) に、ブナセンター講座も開催します。ぜひご来館ください。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

皆様のご支援、ありがとうございます。

豪雨災害による支援

多くの皆様から、お見舞いなどのご支援をいただいております。誠にありがとうございます。いただきました支援金については、災害復旧対策などのため有効に使わせていただきます。

支 援 金 6,774,605 円 (65件)
12月3日現在